

[住宅プロバイダーの名称を記入¹]

女性に対する暴力防止法による居住権に関する案内²

全ての借主・申請者の方へ

女性に対する暴力防止法 (The Violence Against Women Act、(VAWA)) は、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、ストーカー行為の被害者に保護を提供します。VAWA による保護は、女性だけでなく、性別、ジェンダー・アイデンティティー、性的指向に関わらず誰でも受けることができます。

³ 連邦住宅都市開発省 (The U.S. Department of Housing and Urban Development、(HUD)) は、[プログラムまたは家賃補助の名称を記入] が VAWA を遵守しているか監督する連邦政府機関です。この案内は、VAWA におけるあなたの権利について説明しています。この案内には、HUD 承認の証明書フォームが添付されています。このフォームに記入することにより、あなたがドメスティ

¹ 本案内では住宅プロバイダーの名称として HP と記載していますが、住宅プロバイダーは HP と記載してある箇所に実際の名称を記入の事。プログラムに特化した HUD の規制には、居住権の案内を提供する義務がある個人または団体が明記されています。

² VAWA の名称には「女性」という言葉が使われていますが、VAWA による保護は性別、ジェンダー・アイデンティティー、性的指向に関わらず誰でも受けることができます。

³ 住宅プロバイダーは人種、皮膚の色、出身国、宗教、性別、家族状況、障害、または年齢を含む保護事由を理由に差別することはできません。HUD 支援または HUD 保証の住宅は、性的指向、ジェンダー・アイデンティティー、または配偶者の有無（それが事実である場合も、そのように見なされた場合も含む）に関わらず、資格を満たす人なら誰でも受給資格があります。

ック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、ストーカー行為の被害者であり、VAWA による権利を行使したい旨を証明できます。

申請者への保護

[プログラムまたは家賃補助の名称を記入]による支援の受給資格がある場合は、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者であることを理由に制度利用または支援を拒否されることはありません。

借主への保護

[プログラムまたは家賃補助の名称を記入]による支援を受けている場合、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者であることを理由に支援を拒否されたり、参加を取り消されたり、賃貸住宅から強制退去させられることはありません。

また、あなた、あるいはあなたに関係ある方が、あなたの家族または訪問者によるドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者である場合、そのドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為に直接関連する犯罪行為のみに基づいて[プログラムまたは家賃補助の名称を記入]による家賃補助または居住権を拒否されることはありません。

ここで言う「あなたに関係ある方」とは、配偶者、親、兄弟姉妹、子供、親代わりまたは後見人として面倒を見ている人物（例えば、養育、親権、または監督下にある人物）、同世帯に居住しているすべての人物、借主、または合法的な居住者を指します。

虐待者または加害者を世帯から退去させる

HP は、賃貸契約を分割（2 つに分ける）し、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為に直接関連する犯罪行為を行った人物（虐待者または加害者）を強制退去させるか、その人物に対する支援を打ち切ることができます。

HP が虐待者または加害者の強制退去を決定した場合、HP は当該住居に居住資格のある借主の権利をはく奪したり、残りの借主に罰を与えることはできません。強制退去させられた虐待者または加害者が本プログラムによる支援の受給資格を証明した唯一の借主である場合、HP は被害者の借主または他の世帯員が一定期間、当該住居に引き続き居住できるよう取り計らって、本プログラムまたは VAWA が対象とする HUD のその他の住宅プログラムの受給資格が証明できるようにするか、代わりの住居を探せるようにする必要があります。

虐待者または加害者を世帯から退去させるにあたり、HP は連邦、州、地域で定められた強制退去手続きを踏む必要があります。リースを分割するため、HP はドメスティック・バイオレンス、デート DV、性

的暴行、またはストーカー行為の発生に関する証拠書類や証明書の提出をあなたに求める必要はありませんが、そうする場合があります。

別物件への転居

あなたのご要望に応じて、HP はあなたの支援を継続したまま、空室状況により別物件への転居を許可する場合があります。ご要望を承認するにあたり、HP は転居がドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の発生によるものであるという証拠書類の提出をあなたに求める場合があります。ご要望が緊急移転の要請である場合、住宅プロバイダーは要請書の提出、または VAWA の緊急移転の資格基準を満たしていると証明するフォームへの記入を求める場合があります。資格基準は以下の通りです。

(1) ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者であること。住宅プロバイダーは、あなたがドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者であるという証拠書類をまだ持っていない場合、そのような証拠書類（証拠書類に関する下の箇所を参照）を求めることがあります。

(2) 明示的に緊急避難を要請していること。住宅プロバイダーはフォームの提出を求め
ることができますが、別の書面または口頭による要請を認めることがあります。

(3) 現在の住居にとどまると、近い将来さらに暴力の被害を受ける恐れがあるとあなた
が合理的に判断したこと。つまり、移転が認められなかった場合、すぐに暴力にさら
されるのではないかと考える理由があること。

または、

あなたが性的暴行の被害者で、その性的暴行が、移転を要請する前の 90 暦日以
内に敷地内で発生したこと。性的暴行の被害者である場合、現在の住居にとどま
ると近い将来さらに暴力の被害を受ける恐れがあるとあなたが合理的に判断したとい
う理由で緊急移転の支援を受ける資格があるのに加えて、その性的暴行が移転元の
物件の敷地内で発生し、かつその性的暴行が移転を要請する前の 90 暦日以内に
発生していた場合は、緊急移転の支援を受ける資格が得られることがあります。

HP は、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者による緊急
移転の要請、さらに被害者とその家族の転居先についての秘密を守ります。

HP による緊急移転計画書には、緊急移転に関する詳細な情報が記載されており、あなたがその書類の閲覧を希望した場合、HP はそれに応じる義務があります。

ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者であると立証することに関して

HP は、あなたがドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者であると「証明」する証拠書類をあなたに求める必要はありませんが、そうする場合があります。そのような HP からの要請は書面によるものである必要があり、証拠書類の提出期限は、あなたが証拠書類の提出を求められた日から少なくとも 14 営業日（土曜日、日曜日、連邦祝日は含まない）後でなければなりません。HP は、あなたの求めに応じて証拠書類の提出期限を延長する必要はありませんが、そうする場合があります。

あなたは、以下のうち、一つを証拠書類として提出することができます。あなたがドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者である証拠書類の提出を HP から求められた場合、以下のうちどれを提出するかはあなたに選択権があります。

- HP からこの案内と共に渡された、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の発生を記録した HUD 承認の証明書フォーム。あなたの氏名及びドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の発生日時、場所、事件の詳細

細説明を証明書フォームに記入してください。証明書フォームは、虐待者または加害者の氏名を記入できるようになっています。虐待者または加害者の氏名がわかっていて、氏名を記入してもあなたの安全が守られるようであれば、記入してください。

- 連邦、州、部族、準州、地域の法執行機関（警察）、裁判所、または行政機関による、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為事件の記録。そのような記録の例としては、警察の調書、保護命令、接近禁止命令などが挙げられます。
- あなたがドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、ストーカー行為、または虐待の影響に対処するために支援を求めた被害者支援機関の従業員、代理人もしくはボランティア、または弁護士、医療関係者もしくはメンタルヘルス専門家（総称して「専門家」）による声明書。この声明書には、あなたが選択した専門家が「偽証の場合は偽証罪に問われることを承知した上で、そのドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為事件が保護の根拠となると考える」と証言した文言の記載と、その専門家の署名、さらにあなたの署名が必要です。
- HP が受け入れると承知した、他の声明書または証拠。

この証拠書類を 14 営業日以内に提出しない、あるいは提出を拒否した場合、HP はこの案内に記載された保護をあなたに提供する義務はありません。

HP は、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー事件が発生したかについて相反する証拠を受け取った場合（二人以上の世帯員がそれぞれ証明書フォームを提出し、その中でそれぞれ自分が被害者であると主張し、申し立てをしている他の世帯員の名前を虐待者または加害者として挙げているなど）、HP は相反を解決するために、第三者発行の証拠書類を 30 暦日以内に提出するようあなたに求めることができます。相反する証拠がある際に第三者発行の証拠書類を 30 暦日以内に提出しない、あるいは提出を拒否した場合、HP はこの案内に記載された保護をあなたに提供する義務はありません。

守秘義務

HPは、VAWAで保障されている権利の行使に関してあなたから提供された情報の秘密を守る義務がありますが、それにはVAWAで保障されている権利を行使しようとしている事実も含まれます。

HPを代表して援助やその他のサービスを行う人物（例えば、従業員や請負業者）が連邦、州、地域の適用法の下に秘密情報にアクセスすることが特に必要となる理由がある場合を除き、HPはいかなる人物にもその情報にアクセスすることを許可してはなりません。

HPは、あなたの情報を共有データベースに入力したり、あなたの情報を外部の団体や個人に開示してはなりません。ただし、以下の場合、HPは情報を開示することができます。

- 期間限定で情報開示をあなたが書面にて許可した場合。
- 虐待者または加害者を強制退去させたり、虐待者または加害者に対するこのプログラムの支援を打ち切るなど、強制退去または打ち切りに関する裁判にて HP がその情報の使用を必要とする場合。
- 法律で HP または家主が情報の公開を義務付けられる場合。

VAWA は、HP が財産へのアクセスや管理に関する裁判所命令に従う義務を制限していません。これには、家庭が分裂した場合の被害者の保護を目的とした命令や、財産を世帯員同士で分割する命令が含まれます。

VAWA により居住権のある借主が強制退去、または支援停止になる理由

あなたに対するドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー事件に関係のない深刻または度重なる賃貸契約違反を犯した場合、あなたは強制退去や支援停止を受けることがあります。しかし、HP はドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー事件の被害者である借主に対して、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー事件の被害者でない借主に適用される規則より厳しい規則を適用することはできません。

HP があなたに対して強制退去または支援打ち切りを行わない場合に以下のような身体的危険が実際に生じると証明できる場合、この案内に記載の保護は適用されない可能性があり、強制退去及び支援停止を受ける場合があります。

- 1) 短期間内に起こることが予想され、
- 2) 他の借主や敷地内で作業に従事する者の死亡や身体への重大な危害が起こる可能性がある。

HP が上記を証明できる場合、危険性を軽減または除去する他の手段がない場合のみ、支援の打ち切りまたは強制退去を行うことができます。

その他の法令

VAWA は、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー事件の被害者に対するさらなる保護を提供する連邦法、州法、あるいは地域法に代わるものではありません。その他の連邦法及び州法、地域法により、ドメスティック・バイオレンス、デート DV、性的暴行、またはストーカー行為の被害者に対する住宅保護を追加で受給できる場合があります。

この案内に記載の要件の非遵守

ここに挙げた住宅プロバイダーの権利侵害行為を報告し支援を求める場合、必要に応じて下記まで相談または申し立てをしてください。

[該当する場合、仲介人の連絡先情報] または

[HUD 事務所を記入]

さらに詳細な情報が必要な場合

HUD の VAWA 規則の最終版はこちらで閲覧することができます。

[連邦官報のリンクを記入]

さらに、あなたが HUD の VAWA 規則の閲覧を希望した場合、HP はそれに応じる義務があります。

VAWA に関する問い合わせ先はこちらです。

[VAWA についての質問に答えることのできるプログラムの名称または家賃補助の連絡先情報を記

入]

虐待的な関係に関する相談は、National Domestic Violence Hotline (1-800-799-7233) ま
で相談ください (聴覚に障害がある場合は 1-800-787-3224 (TTY))。または、下記まで連絡し
てください。

[関連のある地域団体の連絡先情報を記入]

ストーカー行為の被害者である借主で支援を求めている方は、National Center for Victims of
Crime's Stalking Resource Center をご覧ください。 [https://www.victimsofcrime.org/our-
programs/stalking-resource-center](https://www.victimsofcrime.org/our-programs/stalking-resource-center)

性的暴行に関連するヘルプに関しては、下記までご相談ください。

[関連のある地域団体の連絡先情報を記入]

ストーカー行為の被害者で支援を求めている方は、下記までご相談ください。

[関連のある地域団体の連絡先情報を記入]

添付書類：HUD-5382 証明書 [このプログラムに対して承認されているフォームを記載]